

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 9 月 21 日 (2017.9.21)

【公開番号】特開 2017-33437 (P2017-33437A)
 【公開日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-006
 【出願番号】特願 2015-154968 (P2015-154968)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

B 6 6 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

G 0 6 F 17/30 1 7 0 Z

B 6 6 B 5/00 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 8 月 7 日 (2017.8.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数の信号を含む第 1 信号群を読み込む読込手段と、

複数の信号を含む第 2 信号群が記憶された記憶手段と、

前記読込手段によって読み込まれた第 1 信号群に含まれる信号と前記記憶手段に記憶された第 2 信号群に含まれる信号のうち第 1 信号群に含まれる当該信号に対応する信号との類似度を、第 1 信号群に含まれる複数の信号について算出する第 1 類似度算出手段と、

前記第 1 類似度算出手段によって算出された複数の類似度に基づいて、前記読込手段によって読み込まれた第 1 信号群と前記記憶手段に記憶された第 2 信号群との類似度を算出する第 2 類似度算出手段と、

を備え、

前記記憶手段に複数の第 2 信号群が記憶され、

前記第 1 類似度算出手段は、前記読込手段によって読み込まれた第 1 信号群と前記記憶手段に記憶された各第 2 信号群とについて信号間の類似度を算出し、

前記第 2 類似度算出手段は、前記読込手段によって読み込まれた第 1 信号群と前記記憶手段に記憶された各第 2 信号群との類似度を算出し、

第 1 信号群及び各第 2 信号群は、エレベーターに備えられた複数のセンサからの信号を含み、

各第 2 信号群は、エレベーターの故障箇所を示す故障情報と紐付けて前記記憶手段に記憶された検索システム。

【請求項 2】

表示器を制御する表示制御部を更に備え、

前記表示制御部は、前記第 2 類似度算出手段によって算出された類似度と第 2 信号群に紐付けられた故障情報とに基づいて、発生している可能性が高い故障箇所を前記表示器に表示させる請求項 1 に記載の検索システム。

【請求項 3】

表示器を制御する表示制御部を更に備え、

前記表示制御部は、前記第２類似度算出手段によって算出された類似度順に、第２信号群を示す情報を前記表示器に表示させる請求項１に記載の検索システム。

【請求項４】

第１信号群及び各第２信号群は、信号長が異なる複数の信号を含み、

前記第１類似度算出手段は、類似度の最大値が信号長に因らず同じ値になるように信号間の類似度を算出する請求項１から請求項３の何れか一項に記載の検索システム。

【請求項５】

第１信号群及び各第２信号群は、重要度及び信号長が異なる複数の信号を含み、

前記第１類似度算出手段は、重要度が同じ信号については、類似度の最大値が信号長に因らず同じ値になるように信号間の類似度を算出する請求項１から請求項３の何れか一項に記載の検索システム。

【請求項６】

前記記憶手段に記憶された第２信号群に含まれる信号の中から除外信号を特定する特定手段を更に備え、

前記第１類似度算出手段は、前記特定手段によって特定された除外信号については、信号間の類似度を算出しない請求項１から請求項５の何れか一項に記載の検索システム。

【請求項７】

前記特定手段は、同じ故障情報が紐付けられた第２信号群について対応する信号間の類似度を算出し、その故障情報について類似度のばらつきが閾値を超える信号を特定し、全ての故障情報について類似度のばらつきが閾値を超える信号を除外信号に特定する請求項６に記載の検索システム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

この発明に係る検索システムは、複数の信号を含む第１信号群を読み込む読込手段と、複数の信号を含む第２信号群が記憶された記憶手段と、読込手段によって読み込まれた第１信号群に含まれる信号と記憶手段に記憶された第２信号群に含まれる信号のうち第１信号群に含まれる当該信号に対応する信号との類似度を、第１信号群に含まれる複数の信号について算出する第１類似度算出手段と、第１類似度算出手段によって算出された複数の類似度に基づいて、読込手段によって読み込まれた第１信号群と記憶手段に記憶された第２信号群との類似度を算出する第２類似度算出手段と、を備える。記憶手段に複数の第２信号群が記憶される。第１類似度算出手段は、読込手段によって読み込まれた第１信号群と記憶手段に記憶された各第２信号群とについて信号間の類似度を算出する。第２類似度算出手段は、読込手段によって読み込まれた第１信号群と記憶手段に記憶された各第２信号群との類似度を算出する。第１信号群及び各第２信号群は、エレベーターに備えられた複数のセンサからの信号を含む。各第２信号群は、エレベーターの故障箇所を示す故障情報と紐付けて記憶手段に記憶される。